

マタイ 32

打ち砕かれつつ 心を深く耕そう

マタイ福音書13章1～23節 種を蒔く人のたとえ

Shikaoichurch.com

52

アウトライン

0. イントロダクション

I. 蒔かれた種と土地のたとえ 13:1～9

II. たとえで語る理由 13:10～17

III. たとえの解説 13:18～23

IV. まとめと適用

打ち砕かれつつ 心を深く耕そう

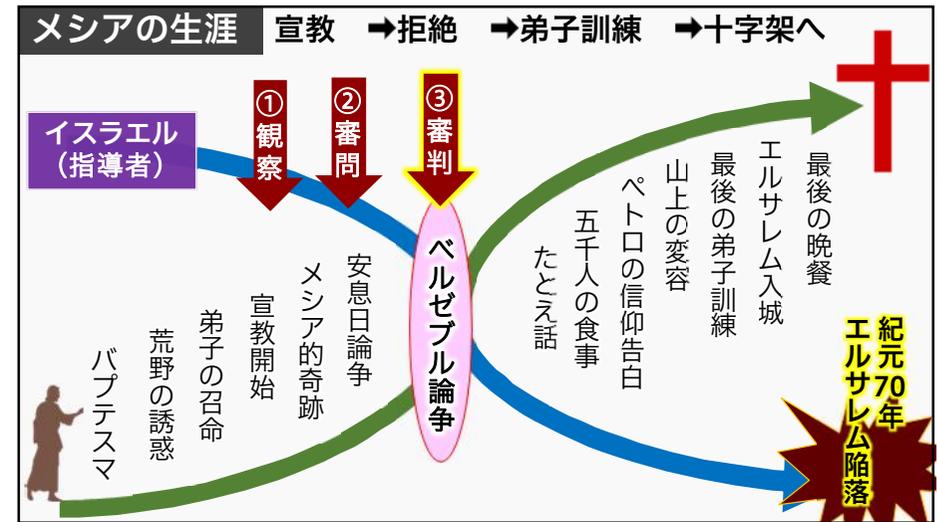
聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

53

0. イントロダクション

カパナウムの再現図

54



55

マタイ福音書によるメシアの生涯 (時系列より内容重視)			
	章	時代	おもな内容
出生	1~2	誕生	エレミヤの召命
大衆伝道 (公開)	3~4	宣教の開始	バプテスマ、悪魔の誘惑、ガリラヤへ
	5~9	宣教	山上の説教(5~7)、メシア的奇跡(8~9)
	10~12	衝突	12弟子の派遣、 ベルゼブル論争
弟子訓練 (限定)	13~20	弟子訓練	たとえ 、信仰告白、山上の変容
	21~25	最後の論争	エルサレム神殿での最終論争
	26~27	受難	最後の晩餐、裁判、十字架と葬り
	28	復活	復活、弟子たちへの最後の命令

56

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 「ナザレのイエスは、メシアなのか？」
- サンヘドリン(ユダヤ議会)の公式見解は、
→イエスの奇跡は、悪霊のかしら(サタン)の仕業
- メシアの活動の中心は、大衆伝道から**弟子訓練**へ
→対象は、イエスをメシアと信じる者たち

イエスの教えは、「たとえ」中心に!!

57

そもそも たとえ話とは？

- 誰でも知っていることに当てはめて、
難しいことを、分かりやすく説明すること。
- しかし、ベルゼブル論争後のイエスのたとえは…
→種蒔きは、当時の誰でも分かる当たり前のことだが、
何を意味しているか、それだけではさっぱり分からない。
- 勝手に解釈すると、とんでもなく的外れなことに!!
例) とある集会。種が主役のテーマ讃美。

重要なのは、主イエスの解説 →種蒔きのたとえは基本!!

58



59

本編 たとえ マタイ13:1~3

その日、イエスは家を出て、湖のほとり*に座っておられた。

すると大勢の群衆がみもとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆はみな岸边に立っていた。イエスは彼らに、多くのことをたとえ*で語られた。

*おそらく、山上の垂訓と同じ場所

*以前もたとえはあった(砂上の家 7:26)

→今回は、言いつばなしで説明がない!!
しかも、たとえばかり。



60

蒔かれた種と土地のたとえ

■ マタイ福音書13:3~6

「見よ。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。

蒔いていると、種がいくつか道端に落ちた。すると鳥が来て食べてしまった。

また、別の種は土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。

しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。

61

蒔かれた種と土地のたとえ

■ マタイ福音書13:7~9

また、別の種は茨の間に落ちたが、茨が伸びてふさいでしまった。

また、別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。

耳のある者は聞きなさい。」

たとえ話の焦点は、種ではなく、蒔かれた「土地」

62

蒔かれた種と土地のたとえ

土壌	結果	意味
道ばた	鳥に食べられた。	
土の薄い岩地	すぐに芽を出したが、根がないため枯れた。	
茨の間	茨がふさいで成長がとまった。	
よい地	30倍、60倍、100倍の実を結んだ。	

63



II. たとえで語る理由 マタイ福音書13章10～17節

ガリラヤ湖

64

本編 弟子たちの疑問 マタイ13:10

すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに「なぜ、彼らにたとえでお話しになるのですか」と言った。

- たとえだけで解説もなく終了!!
 - ➔なぜ、たとえばかりで話されるのか？
 - 戸惑う弟子たち
- 種蒔きの話は、きわめて常識的だけど、何を意味しているか、さっぱり分からない

65

本編 御国の奥義 マタイ13:11～12

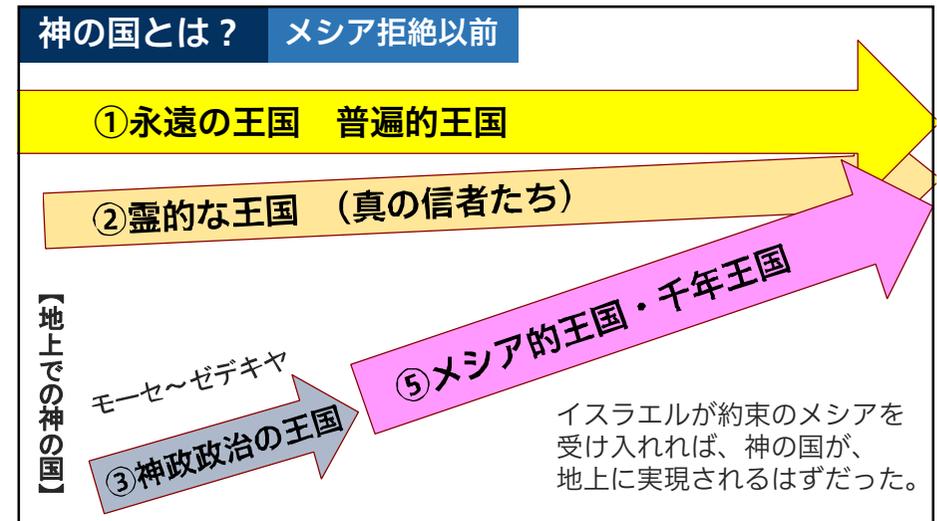
イエスは答えられた。「あなたがたには天の御国の奥義*を知ることが許されていますが、あの人たちには許されていません。

持っている*人は与えられてもっと豊かになり、持っていない*人は持っているものまで取り上げられるのです。」

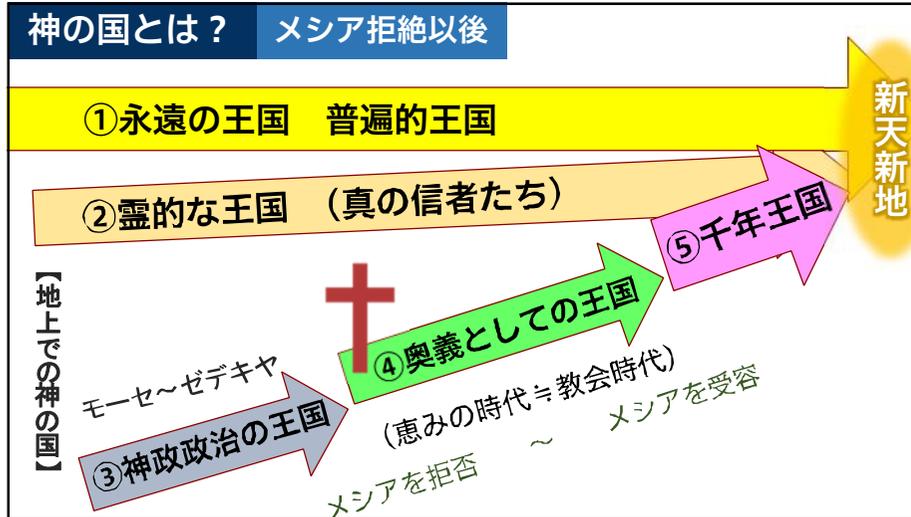
- *隠されていた神の国(教会)
- *神の国についての知識

奥義は、信仰者にしか知らされない!!

66



67



68

本編 たとえで話す理由 13:13~14a

わたしが彼らにたとえで話すのは、彼ら*が見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、悟ることもしないからです。

こうしてイザヤの告げた預言が、彼ら*において実現したのです。

■メシアの奇跡を見、真理を聞いたのに、
イスラエル*は、イエスを拒絶。

➡イエスは、公的には、
たとえでしか語られない!!



69

本編 イザヤの預言 マタイ13:14b~15

『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟ることはない。見るには見るが、決して知ることはない。』

この民の心は鈍くなり、耳は遠くなり、目は閉じているからである。彼ら*がその目で見ること、耳で聞くこと、心で悟ること、立ち返ることもないように。そして、わたしが癒やすこともないように。』

■イザヤ召命時の主の命令(イザヤ6:9~)
➡イスラエルのメシア拒絶を預言!!



イスラエルの拒絶は
世の終わりまで

70

イスラエルがメシアを再び受け入れる時

■イザヤ6:11~13

私が「主よ、いつまでですか」と言うと、主は言われた
「町々が荒れ果てて住む者がなく、家々にも人がいなくなり、土地も荒れ果てて荒地となる。
主が人を遠くに移し、この地に見捨てられた場所が増えるまで。
そこには、なお十分の一が残るが、それさえも焼き払われる。
しかし、切り倒されたテレビンや樫の木のように、それらの間に切り株が残る。この切り株こそ、聖なる裔」

イスラエルの拒絶を終わらせるのは、再臨のメシア

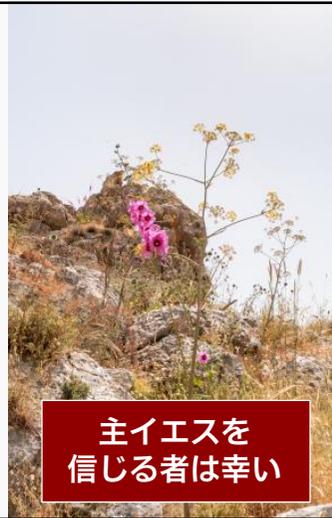
71

本編 幸いな者 マタイ13:16~17

しかし、あなたがたの目は見ているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。

まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているもの*を見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていること*を聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。

*目の前のイエスこそ、イスラエルが待ち望んだ、預言されたメシアである。



主イエスを
信じる者は幸い

72



Ⅲ. たとえの解説 マタイ福音書13章18~23節

73

本編 メシアの解説 マタイ13:18

ですから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。

■ここから、メシアによるたとえの解説が、弟子たちに向けて語られる。



74

本編 ①道端のような者 マタ13:19

だれでも御国のことば*を聞いて悟らないと、悪い者*が来て、その人の心*に蒔かれたものを奪います。道端に蒔かれたものとは、このような人のことです。

*「種」=「(イエスの語る)御国のことば」

*「鳥(烏)」=「悪い者(悪魔・悪霊)」

*「心の状態」=「土地の状態」

①道端のような心に蒔かれた者

=メシアの言葉を拒絶する人



75

本編 ②岩地のような者 13:20~21

また岩地に蒔かれたものとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。しかし自分の中に根がなく、しばらく続くだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

②岩地のような心に蒔かれた者

=メシアをすぐ受け入れたが、
苦難や迫害で簡単に離れてしまう、
信仰のきわめて浅い人



76

本編 ③茨の中のような者 マタ13:22

茨の中に蒔かれたものとは、みことばを聞くが、この世の思い煩いと富の誘惑がみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。

③茨の中のような心に蒔かれた者

=御言葉を聞くだけで
思い煩いや富のことで心はいっぱい
行いが伴わない人



77

本編 ④良い地のような者 マタ13:23

良い地に蒔かれたものとは、みことばを聞いて悟る人のことです。本当に実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。」

④良い地のような心に蒔かれた者

=御言葉を理解し、多くの実を結ぶ人

「あなたがたは彼らを実によって見分けることになります。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるでしょうか。マタイ7:16」

→御言葉の種は、御言葉の実を結ぶ



福音を人々に
告げ知らせる者に!!

78



IV. まとめと適用 打ち砕かれつつ、心を深く耕そう

イスラエル・麦畑

79

たとえのテーマは、「奥義としての神の国」

- 預言されたメシアを、イスラエルが公式に拒絶。
- この時から、**奥義としての神の国**の時代が開始
隠されていた奥義の時代が明らかに!!
- **奥義としての神の国**の時代(恵みの時代≒教会時代)は、
イスラエルがメシアを受容する世の終わりまで続く。

80

神の国とは? メシア拒絶以後

①永遠の王国 普遍的王国

②靈的な王国 (真の信者たち)

③神政政治の王国 (モーセ～ゼデキヤ)

⑤メシア的王国・千年王国

【地上の神の国】

イスラエルが約束のメシアを受け入れれば、神の国が、実現されるはずだった。

81

神の国とは? メシア拒絶以後

①永遠の王国 普遍的王国

②靈的な王国 (真の信者たち)

③神政政治の王国 (モーセ～ゼデキヤ)

④奥義としての神の国 (恵みの時代≒教会時代)

⑤千年王国

【地上の神の国】

新天新地

メシアを受容

メシアを拒否

82

種蒔きのたとえが示す 奥義の時代

- イスラエルのメシア拒絶以降、**奥義としての神の国**が示された。
- 奥義の時代、**みことばを受け入れるかどうか**が、命運を決める
十字架前 …イエスを**メシア**と信じるかどうか
十字架後 …イエスの福音(十字架と復活)を**信じる**かどうか
- みことばを受け入れる人は少ない。
みことばを伝えるようになる人は、ほんのわずかしかない

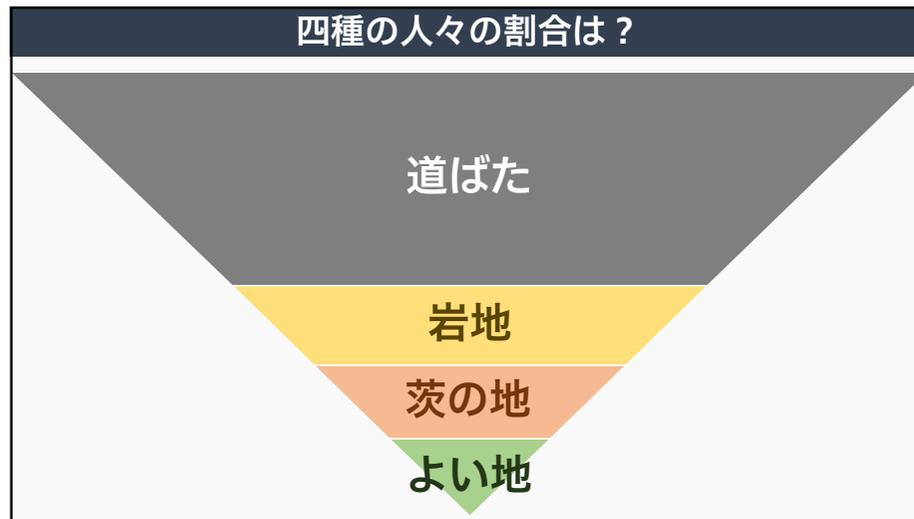
83

種 = みことば 土地 = 心の状態		
土壌	結果	意味
道ばた	鳥に食べられた。	拒絶した者から、悪魔が御言葉を奪い去る
土の薄い岩地	すぐに芽を出したが、根がないため枯れた。	信仰が浅い者は、すぐにつまづく
茨の間	茨がふさいで成長がとまった。	世の思い煩いや富に捕らわれ成長できない
よい地	30倍、60倍、100倍の実を結んだ。	御言葉をよく理解し、福音を多くの人に伝える

84

教会時代の四種の人々の霊的状况			
道ばた	福音を拒絶した者	救われていない (福音を拒絶)	} 外見上の区別はつかない!!
土の薄い岩地	すぐにつまづいた信仰の浅い者		
茨の間	世に心捕らわれて成長が止まった者	救われている (福音を受容)	
よい地	御言葉を知り、福音を伝える者		

85



86

種を蒔く人の主権は神にある	
■	主イエス直々のタイトルは、「種を蒔く人のたとえ」 →主体は、「種を蒔く人 (the sower)」 = 神
■	この時代、神が、すべての人に福音の種を蒔かれる。道端のように頑なな人の心にも。 →受け入れるかどうかは、その人の心次第 →受け入れた後の霊的成長も、その人の心次第
求められる責任は、応答し、応答し続けること	

87

①岩地からの脱却 信仰の浅い、靈的幼子から脱しよう!!

■求められている信仰の成長 ヘブル6:1~2

「ですから私たちは、キリストについての初歩の教えを後にして、成熟を目指して進もうではありませんか。死んだ行いからの回心、神に対する信仰、きよめの洗いについての教えと手を置く儀式、死者の復活と永遠のさばきなど、基礎的なこと*をもう一度やり直したりしないようにしましょう。」

当然知っておくべき初歩の教え!!

*救い(義認)、信仰の成長(聖化)、教会の権威(教会論)、復活(栄化)、主の再臨と永遠の裁き(終末論)

88

②茨からの脱却 思い煩いから自由になるために

■へりくだって主にゆだねる | ペテロ5:5~7

「みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。

ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。

あなたがたの**思い煩い**を、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。」

へりくだることは、思い煩いを主にゆだねること

89

③実を結ぶよい地へ 信仰の確信を得るために

■行いの実を結ぼう マタイ7:20~21

「こういうわけで、あなたがたは彼らを**実**によって見分けることになるのです。わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が入るのです。」

■今の時代の主の御心の中心 →十字架と復活の福音宣教

信仰と恵みによる救いの福音を携え、遣わされているか？

90

結ぶべきは、福音の御言葉の実

■福音の御言葉の種は、福音の御言葉の実を結ぶ。

■信仰者の使命は、福音の御言葉の実を結ぶこと。
心から喜んで、福音を宣べ伝える者になるためには、御言葉を慕い求め、日々、心を打ち砕かれていくこと。

■砕かれた心を主が用いて、福音を告げる器とされる。

福音を告げるのが私の使命、救いは主がもたらされる!!

91

★ 打ち砕かれ、心を耕していこう ★

- 福音を信じて救われた心には、頑なな石がごろごろと。御言葉に従い歩むほど、罪に気付かされ打ち砕かれて…。主に打ち砕かれて、私たちの心は柔らかく耕されて行く。
- 日々、御言葉に従い、主の御顔を慕い求めよう。砕かれた心で、福音を携え、遣わされて行こう。砕かれ、主に委ね、遣わされ、福音を宣言していく。その課程のただ中で、救いの確信は強められていく。

92

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな し じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし うち しゅ いのち みことば ま
私たちの内に、主の命の御言葉が蒔かれています。
おも わずら しゅ わたし こころ ひび う くだ
思い煩いを主にゆだねます。私の心を日々、打ち砕いてください。
よろこ ふくいんせんきょう つかわ み むす もの
喜んで福音宣教に遣わされ、実を結ぶ者としてください。
わたし おぼ いの ひとびと えいえん おうこく まね い
私たちが覚えて祈る人々を、永遠の王国に招き入れてください。
しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

93